

CQ にいつ

2023年5月号・通算第226号 発行責任者：新津クラブ会長

おもな内容 & 今後の予定

- ◎ クラブ定期総会の報告
- ◎ 皆さんからの投稿
- ◎ 最新情報&行事予定
- ◎ 5月13・14日・第60回 JA0-VHF コンテスト
- ◎ 5月21日(日) クラブミーティング
- ◎ 6月4日(日) クラブ・春の移動運用
- ◎ 7月9日(日) 湯ハムフェア・新潟県会員の集い



にいつクラブ各局、3年ぶりに、クラブ定期総会も開催されました。
コロナ禍の中、アイボールの出来ることのありがたさを感じます。

今シーズンも、ハム・イベントが盛りだくさんです。ハムライフを楽しんでいきましょう。

ロールコールは、毎週水曜日 20:20~です。
周波数は 145.22MHz です。Google Meet・放課後の方もヨロシク!
JA0YMP/新津クラブメーリングリストで、情報発信中!

第53回 クラブ定期総会の報告

3月26日、新津地区市民会館で第53回クラブ定期総会が開催されました。その報告になります。

コロナ禍でクラブ総会が3年ぶりにアイボール形式となり、18名の出席(委任状提出者6人を含む)を頂きました。お忙しい中、参加の各局、ありがとうございました。

会長・JH0OPR / 森田さんが、引き続き会長職となりました。また、各クラブ役員の方も新年度も引き続き、担当となりましたので、クラブ各局、よろしくお願いいたします。

1号議案 令和4年度行事報告、決算報告、会計監査報告は総会資料の通り承認され、続いて、

2号議案 令和5年度行事計画案、予算案は総会資料の通り承認されました。

その他の議題としての主な事項です。

- (1) 今年度の新・支部大会はハムフェア形式で開催される。
- (2) 新津クラブ、「移動運用」・「さんまの会」のイベントも開催する方向である。
- (3) 各コンテストにおいてクラブ各局の奮闘により、入賞・好成績になることが出来た。
- (4) クラブミーティングの毎月開催、及び、ロールコールの継続方法について。
- (5) クラブ各コンテストの表彰式、賞品授与。

2023年新津クラブ、新役員体制です。よろしくお願いいたします。

会長: JH0OPR / 森田

副会長: JF0DTN / 落合(移動)

理事: JA0BUH / 田中(ミーティング)

理事: JR0NVX / 帆苺(IT担当・移動)

会計: JG0PXL / 井浦(会計)

役員: JG0OJC / 古谷(移動・ロールコール)

監事: JH0JVA / 高橋(監査・会報)



クラブ員のみなさんへ

J H O P R 森田

令和5年3月26日のクラブ定期総会も無事終了し、令和5年度へ向かって動き始めました。日本の人口が急速に減少していますが、同様にアマチュア無線局数も減少しています。

新津クラブも最大クラブ員が150名に届く勢いの時代もありました、しかし現状は20名前後までクラブ員の人数が減っています。さらに、クラブ員の年齢も高齢化にあり、このまま毎年平均年齢が上昇すれば、いずれはアマチュア無線からリタイヤするクラブ員が増加してきます。

それまでに相対的に若い年齢のクラブ員を育てなければ新津クラブは自然消滅となるでしょう。若い人を育てるには5年～10年の期間が必要です。

ぜひ個人局でもアマチュア無線の無資格の運用制度を利用してアマチュア無線技士を育成する手助けをお願いします。

神輿まつり、屋台まつりなどのまつりは、担ぐ人、見物する人が必要です。なかでも担ぐ人になれば一番楽しみが得られます。

ぜひアマチュア無線を担ぐ人になり、電波、無線の楽しみを、アマチュア無線を知らない人々に見せつけてください。

その他意見で出たものを、J R 0 N V X / 帆莉さんがまとめと感想を書いてくれました。

ロールコールについて、これまでに上がった声を集約すると、

- ・もっと時間を短く
- ・点呼だけで良い
- ・もっと時間を長く
- ・内容や返答が欲しい。
- ・時刻や曜日
- ・回数
- ・キー局への負担の懸念

さて、これまで数十年に渡り続いてきた新津クラブのロールコールですが、地域クラブとして、時代と共に様々な役割を担ってきました。

1. クラブの連絡事項の周知
2. クラブ員が健在である事の確認
3. クラブ員の親睦
4. 新津クラブの存在、活動アピール
5. 情報共有
6. 無線設備の健全性の確認と操作への慣れ
7. オペレートへの慣れ

※このうち6, 7に関しては、特に新規開局者へトレーニングの場としての意味合いが大きい。そんな中、クラブ員の様々な要望に応えるには、

- ・スタート時間は20時頃から、待機、フリートーク、20時20分開始（現状通り、再確認）
- ・ネットイン段階でキー局にレポートを送り、キー局もレポートを返す。

（一般的なロールコールの方式）

- ・20時30分、もしくは途切れるまで延長してネットイン局に呼びかける。
- ・その後、希望者には一回目のマイクを回す。希望しない場合は呼ばれても答えない。飛ばす。

- ・発言者にマイクが回っている間に、聞きたい事がある局が即時質問できるタイムを取れる様、ブレイクタイムを取る。
- ・しかし、それでは複雑すぎる事に伴いキー局にも多大な負担がかかるため、各局の発言で気になる所を各自メモを取り、後でまとめて質問なり、やり取りをする方法もある。
(J A O Y I さんがお手本)

などなど、思いつくところもありますが、落とし所は常に難しいですね。

地域クラブとしては、新参の局、クラブ員以外の局へも裾野を広げ、参加しやすいという部分は決して無視したくないところです。

思い返せば、私が入会した当時は数十局の参加者が、一分くらいずつ延々と近況を述べてゆくスタイルであったと思います。

自分の番を待ち、脂汗をかきながらマイクを握っていたでしょう。更にキー局の当番が回ってくると、とても緊張したものです。

2023年3月30日
新津クラブ 帆苺

「CW大失敗！」

開局約40年、昨年より144MHz帯にて、CWのロールコールに、時偶参加しています。

「ひどい！」

- ・面倒になり、VVVとコールサインだけ打って退出の週もある。
- ・コールサインを間違えることがある。(気づいてないかも)
- ・面倒なので、(←ここが重要)メモなど取らず、ほとんど暗記?で受信、適当に「ああ、何か言ってるな」で答える。
- ・訂正符号も面倒なので「打たない！」(で済むように、間違えないように気をつけています)
- ・ハイモンドの大理石の縦ぶれ電鍵をベッドの上!に載せて、体をひねって打っている。(以外と良い)
→ その後、安定した台で、ちゃんと体を真っ直ぐにしたら、とても打ちやすくなった(当然だ!)
- ・相手が面倒なことを打ってきても無視、或いは「?」でしのぐ、(←「?」だけは打てた方が良い)
- ・面倒になったら「R 73 V A E E」で逃げる。
- ・意味も分からず、ノリでオウム返しをする。
- ・Q符号も怪しい。(中高生の頃より退化した)

こんな当局の現状ですが、無線局を開設している以上、免許状にA1Aと載っている以上はCWで電波を出せるだけでも嬉しいです。

そして、いつかは14MHzのCWで交信を!(中学生の時の夢)

de JRONVX

▼人生に大きな失敗は付き物。その三様の戯画をご披露いたします。

▼ハムを始めて 10 年を過ぎた頃でしょうか、世の中、真空管からトランジスタに変わりました。程なく、今度はアナログからデジタルの変換の波が来ました。トランジスタへの変換は単なるデバイスの変換でしたが、デジタルへの変換はそんな生易しいものでは有りませんでした。何しろ、「AM 変調と FM 変調の違いは数式の違いだ」と言うのです。「グリッドがベースで、プレートがコレクターで」なんて言っていた半導体への変換とは次元が違いました。そこでの、出だしはプログラムが既書き込まれているデジタル時計の製作でした。時計を作るのに半田鋸を使用するのが、何とも奇異に感じたことを今でも鮮明に覚えております。ところが、いつもの電子工作の習慣から、シャーシーを加工して、電源スイッチを付けてしまいました。例え、他の惑星へ行っても電源スイッチ付きの時計は皆無でしょう。車の電源を切ると時計は消えます。しかし、時間を計るカウンターはその車がスクラップになるまで、電源は切られません。いや、もし電池内蔵タイプで、電池さえ生きていれば、溶鉱炉に投げ込まれるまで動いているでしょう。時計とはそういうものなんです。

▼二つ目も「デジタルへの変換」での失敗です。工業高校でのデジタル教育はハードからでした。その 1 ページ目は論理回路 (AND, OR, NOT) のブール代数でした。教員になってから、初めて知った数学のカテゴリーは位相幾何でした。それに次ぐ二つ目の新しいカテゴリーでした。学生の時、少しでもかじっていれば、少しはよかったです。何しろ題名そのものから、初耳でした。そんな折、今は無き古町十字路の北光社書店で「論理学入門」と記された背表紙が眼に留まりました。見開き 2 ページの読み切り、各項目には必ず 1 枚の写真が載り、数式一切不使用。「よし、これだ。」何の迷いもなく、この本との出会いに感謝しながら、購入いたしました。翌日、職員室にて気合を入れて読み始めました。しかし、読めども読めども、全編、不倫の解決方法。その表紙を視て啞然と致しました。「言」辺と「イ」辺を間違えておりました。「論理学入門」ではなく、「倫理学入門」でした。今、その本をその後どうしたか、思い出そうとしていますが、全く記憶は有りません。



▼三つ目は昨日の失敗です。車を止めて 2 年、兎にも角にも買い物に不自由しておりました。かと言って、どうしても老人車に乗る気にはなれません。そんな折、ホンダの三輪スクーターが眼に留まりました。三輪ならば、重力に対して絶対に安定するはず。店員の訝るのを無視して購入し、乗って驚きました。三輪は三輪でも、車の三輪ではなく、あくまでもバイクの三輪なんです。当然、カーブでは重心の移動が必要です。初めてのバイクは後期高齢者にとっては極めて危険な乗り物でした。Icom IC-7700 との価格差は¥63k。でも購入の翌々に手放しました。そのバイクの愛称が「ジャイロ」でした。もし その意味するところが理解できていれば、その失敗は無かったでしょう。

電波法令の改正について

総務省は2023年3月22日に電波法令の改正を官報にて公示しました。即日施行したものと、9月に施行するものと二つに分けました。

公布即日施行のもの

1. アマチュア無線の交信体験制度（体験運用）
2. 教育、研究活動で活用できることの明確化
3. 養成課程におけるe-ラーニングの積極的活用
4. 人工衛星等アマチュア局に関する制度の明確化及び制度
5. アマチュア局の非常時や緊急時の通報に関する制度の明確化
6. 行事等の開催に伴い臨時かつ一時のために運用するアマチュア局の明確化
7. アマチュア局の一つの構内で行われる遠隔操作についての簡素合理化
8. アマチュア局の旧コールサイン申請時の確認書類の簡素合理化
9. アマチュア無線社団局のいわゆるゲストオペレーター制度の規定の明確化
10. アマチュア局の周波数測定装置に関する規定の整理の整理
11. その他（社団局の名称及び資料、設置場所等、二次業務の周波数の使用、電波の強度に対する安全施設、レピーター局・アシスト局、公衆網の接続について

9月に施行が予定されているもの

1. アマチュア無線従事者免許とアマチュア局免許の同時申請手続きの導入
2. アマチュア局に係る電波の型式、周波数及び空中戦電力の一括標示記号の導入
3. アマチュア局に係る技術基準適合証明等を受けた無線設備の取換・増設・撤去に係る簡素合理化
4. 送信機の外部入力端子に接続する『アマチュア局特定付属装置』に係る手続きの簡素合理化
5. アマチュア無線の初心者やライトユーザー（注：空中線電力50ワット以下）にとって見やすく・わかりやすい免許申請書等の特例様式の導入
6. アマチュア局の再免許の申請期間の見直し、施行日以降は申請期間の始期が6か月になります。すなわち再免許申請期間は免許状の有効期限の日から6か月前から1か月前に提出となる
7. アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別の簡素合理化。
アマチュア無線の周波数別の使用区分が変更されます、変更後の使用区分に注意してください

公布日・施工日が同一の3月即施行は周知期間の必要のないものが対象です。

9月施行予定のものは、免許事務処理システムの改修や、制度変更の周知等が必要なもので、令和5年9月施行予定となっています。

「SOTA入門セミナー」が開催されました。

2月26日、(日)五泉クラブ・新津クラブ共催で「SOTA入門セミナー」が開催されました。

SOTAアクティベーターの **JH1RYE/JJ0QBN 唐沢さん**を講師に迎え、「SOTAと移動運用」について講演して頂きました。なお、新津クラブからは8名の方が参加されました。

SOTAとは、**Summits On The Air**の略語で、イギリスに本部があり、2002年から活動をしています。

一言で言うと「**IOTAの山岳版**」であり、究極の移動運用です。興味ぶかいお話を聞くことができ、ラッキーでした。認定された山には人力で登ること、商用電源と発電機は使用ができない、自然を壊さないように運用すること、等の条件があります。ただの移動運用とはちょっと感じが違うようで、自分の体力・無線装備・計画性なども必要なようです。いろいろな条件の中、山岳移動で交信してポイントを競う楽しみがあるようです。

以下は、**JH0OPR / 森田さん**から今回の「SOTA入門セミナー」での話の要点を紹介して頂きました。

移動運用にはリチウムイオン電池が軽くて容量が大きいので便利です。

最近のリグは電源電圧が14[V]ないと動作が不安定になるリグがあります。無線機のPTTを押すと出力が12[V]から14[V]に自動的に電圧が上昇する機能を持ったバッテリーもあります。

バッテリー容量の残量が表示される機能付きが移動運用においては重宝です。

たまに、山岳移動運用中に他の登山者から『何をやっているのですか』と声をかけられることもあります。

声をかけられるのは楽しいですね。

声かけの方の中には、『昔自分もアマチュア無線をやっていた。また無線を再開してみようかな』といわれることもあり、さらにうれしく感じます。アンテナは長さより同調の取れたアンテナがBEST、山頂からの電波はV/U機の1ワットでも数100km以上も飛ぶこともあります。

10mWの特小無線機でも100kmも飛んだこともありました。混信を逃れるために指向性アンテナがあるとさらに便利です。

HFの運用ではカーボン製の竿が人気となっていて、竿の塗装をはがして給電線を接続しています。

当然軽い小型のアンテナチューナーを利用していますが、アースは必要です。

梅雨入り前から秋頃まで、山では蛭に注意することも必要です。

やってみて楽しければ続ける、楽しくなければやめる、あるいは別のやり方を考えてみることも必要です。

山岳移動は登山計画が一番大事です。登山ルートは山ツプ(YAMAP)を見て決めています。

無線運用を長く楽しみたいため、登山に時間がかかってしまう山は行っていません。

以上 簡単な報告でした。JH0OPR / 森田





今年も、第60回 JAφ - VHFコンテストが開催されます。

2023年5月13日(土)21:00 ~14日(日)12:00JST時報まで

今年も入賞を目指しましょう!! 詳しくは、JARL 新潟 ホームページをご覧ください。

潟ハムフェア・新潟県会員の集い

今年の「新潟県支部大会」は今までの大会から、ハムフェア的な催事になります。

開催日 2023年7月9日(日) 午前9時~

場 所 ラポルテ五泉 多目的ホール、多目的室 (五泉市赤海)

新潟県支部ではラポルテ五泉を物品販売が可能な料金で借用しています。

新潟クラブでは近隣クラブとして『潟ハムフェア・新潟県会員の集い』に協力したいと考えています。

詳細はまだ決定していませんが、決まりしだい周知させていただきます。

この催しは自分自身が楽しむためのものでもあります。ぜひ各局の御協力を御願い致します。

5月のミーティングのお知らせ

日時 5月21日(日) 13:00~

場所 新津地区市民会館 第2会議室

5月21日(日)には新潟コンテスト 7MHz、Lowバンドがありますが、

市民会館は21日しか空きがありませんでした。

申し分けありませんが21日に設定をさせていただきました。

春の移動運用のお知らせ

春の移動運用は例年のとおり信濃川親水バレー公園で行います。

開催日 2023年6月4日(日)

場 所 信濃バレー親水レクリエーション広場

開 始 9時00分に集合し、設営準備を行いたいと思います。

3月にアマチュア無線の体験制度が大幅に緩和され、一切の申請をおこなうことなく、無資格者にアマチュア無線を体験してもらうことが可能となっています。

よって、移動運用においては、体験運用をPRして公園に来る人々に体験を呼びかけて行います。

体験者が少なくてもガックリ(Hi)しないで、まずは自己の経験を積みましょう。



にいつクラブホームページ <http://www.ja0ymp.net/>

画像掲示版もよろしくね!!